

令和4年度 春学期
授業評価アンケート結果

令和4年10月5日
滋賀文教短期大学

1. 目次

ページ	内容
1	1. 目次
	2. 授業アンケートについて
2	3. 授業アンケート質問項目
3	4. 授業アンケート集計結果 (1) 全学
4	(2) 国文学科全体
5	(3) 国文学科 1 年生
6	(4) 国文学科 2 年生
7	(5) 子ども学科全体
8	(6) 子ども学科 1 年生
9	(7) 子ども学科 2 年生
10	5. 全学的考察 (1) 授業アンケート結果について
11	(2) 授業の質向上のために
12	6. 国文学科全体の考察 (1) 授業アンケート結果について
13	(2) 授業の質向上のために
15	7. 子ども学科全体の考察 (1) 授業アンケート結果について
	(2) 授業の質向上のために
～16	8. 授業アンケート回答率の推移

2. 授業アンケートについて

■概要

本学では、実習科目を除く全科目の 14 回目または 15 回目で約 10 分程度の時間を設け、授業アンケートを実施している。学生は、学生ポータルサイトからアンケートに無記名式で回答する。

■実施期間

学年暦において 14 回目または 15 回目の授業内で授業アンケートを実施する。

春学期開講科目は、令和 4 年 7 月 18 日～令和 4 年 8 月 12 日に実施した。

■授業アンケートの活用

授業アンケートの集計結果（学務課教務担当による集計）、科目レベルの学修成果の査定結果（授業アンケートによる学生の達成実感度と科目 GPA による査定）の主に 2 点をふまえて、授業検討票に省察を記録する。

本学の科目レベルの査定においては、学生の達成実感度 60%以上かつ、科目 GPA が 2.00 から 3.00 までのときを、望ましい水準とアセスメント・プランに定めている。

これらをふまえて、科目担当教員は授業に関してどのような工夫をすれば学生がより学修成果を獲得できるかを検討し、次年度に向けたシラバス改善案を記録する。

さらに、全科目の授業アンケート結果や授業検討票をもとに、各学科の総評を学科長が、全学的総評を FD 委員長が行う。このような取り組みにより、科目レベルだけでなく組織的に授業のさらなる質向上に努めている。

授業アンケートの結果は、概要を本学ホームページで過去 3 年間分、学生ポータルサイトで自由記述欄以外の数値を公開している。また、授業検討票は閉架式にて学務課教務にて保管し、閲覧希望者に開示している。

3. 授業アンケート質問項目

選択式の質問 1～8 は回答必須とし、自由記述欄である質問 9 については任意による回答とした。
質問と回答の選択肢を下記に引用する。

1. あなたは、この授業の到達目標がどのくらい達成できましたか。【単一選択式】

シラバス記載の到達目標のうち、関連するディプロマポリシーにおいてカリキュラムマップ上で二重丸がついているものが科目担当教員から学生に 1 つだけ提示されます。

- ①達成できた ②おおむね達成できた ③達成できなかった

2. 授業内容は興味・関心が持てましたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

3. 授業内容をよく理解できましたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

4. この授業はシラバスに沿った内容でしたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

5. 学生の理解を促す工夫がなされていましたか。【単一選択式】

(言葉による説明だけではなく、適切な資料、板書等の活用、グループワーク)

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

6. 工夫してほしいと感じたことを選んでください。【複数選択式】

- ①特になし ②分かりやすいパワーポイントや板書 ③教科書・配布資料の活用
④聞き取りやすい話し方 ⑤私語への対応

7. 教員は学生の理解や反応を見ながら授業を進めていましたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

8. あなたは、この授業の予修・復修など自主学修に 1 週間あたりどのくらいかけましたか。【単一選択式】

※授業に間接的に関係のある学修を含む。学内外を問わず、授業時間以外の時間を回答（ピアノ練習、基礎プロ準備、実習準備等）

- ①3 時間以上 ②2 時間以上 3 時間未満 ③1 時間以上 2 時間未満
④30 分以上 1 時間未満 ⑤30 分未満

9. あなたがこの授業を受ける中で感じた良かった点や改善してほしい点があれば、記述してください。

(特に記述することが無い場合は空欄のままでも問題ありません)

自由記述欄

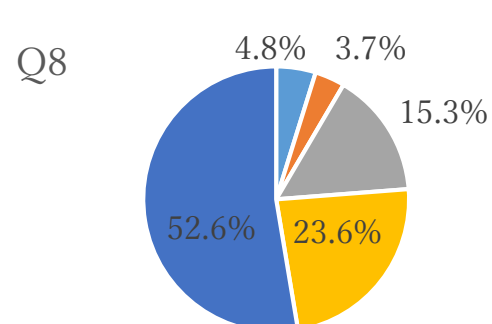
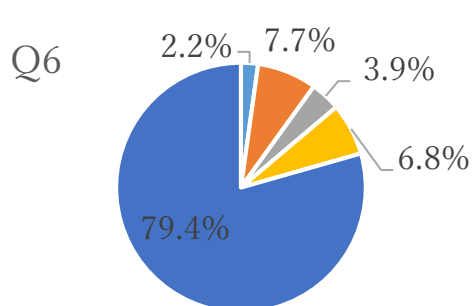
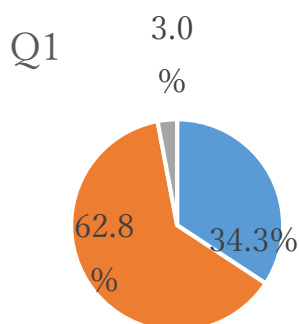
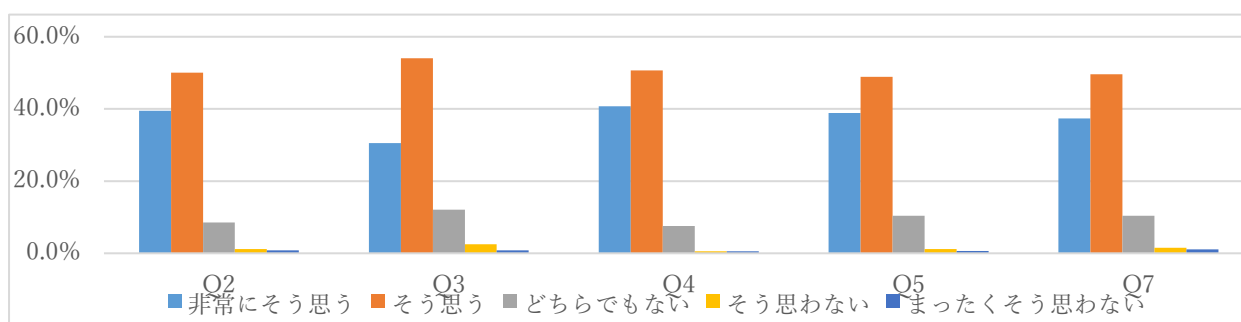
4－(1)．授業アンケート集計結果（全学）

●全体集計

受講人数	回収数	回収率
2063	1725	83.6%

	1	2	3	4	5	計
Q1	591	1083	51	－	－	1725
Q2	681	863	147	20	14	1725
Q3	527	932	209	43	14	1725
Q4	702	874	130	10	9	1725
Q5	670	843	180	21	11	1725
Q6	41	143	72	125	1469	1850
Q7	645	855	179	27	19	1725
Q8	83	63	264	407	908	1725

	1	2	3	4	5	計
Q1	34.3%	62.8%	3.0%	－	－	100.0%
Q2	39.5%	50.0%	8.5%	1.2%	0.8%	100.0%
Q3	30.6%	54.0%	12.1%	2.5%	0.8%	100.0%
Q4	40.7%	50.7%	7.5%	0.6%	0.5%	100.0%
Q5	38.8%	48.9%	10.4%	1.2%	0.6%	100.0%
Q6	2.2%	7.7%	3.9%	6.8%	79.4%	100.0%
Q7	37.4%	49.6%	10.4%	1.6%	1.1%	100.0%
Q8	4.8%	3.7%	15.3%	23.6%	52.6%	100.0%



- 達成できた
- おおむね達成できた
- 達成できなかった

- 私語への対応
- 聞き取りやすい話し方
- 教科書・配布資料の活用
- わかりやすいパワーポイントや板書
- 特になし

- 3時間以上
- 2時間以上3時間未満
- 1時間以上2時間未満
- 30分以上1時間未満
- 30分未満

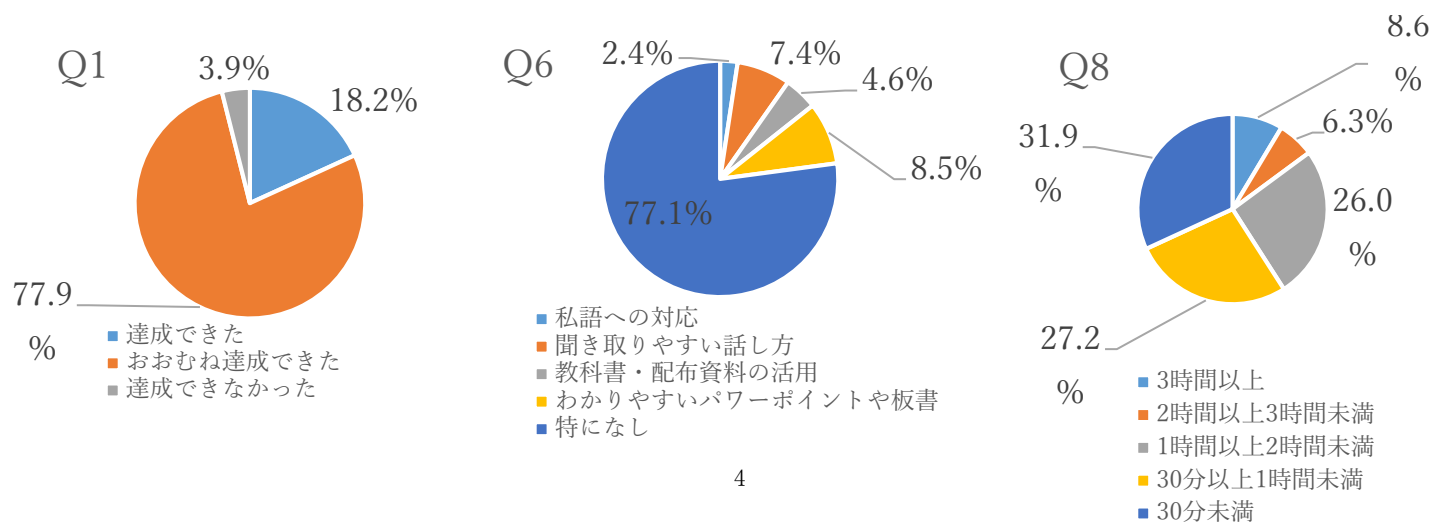
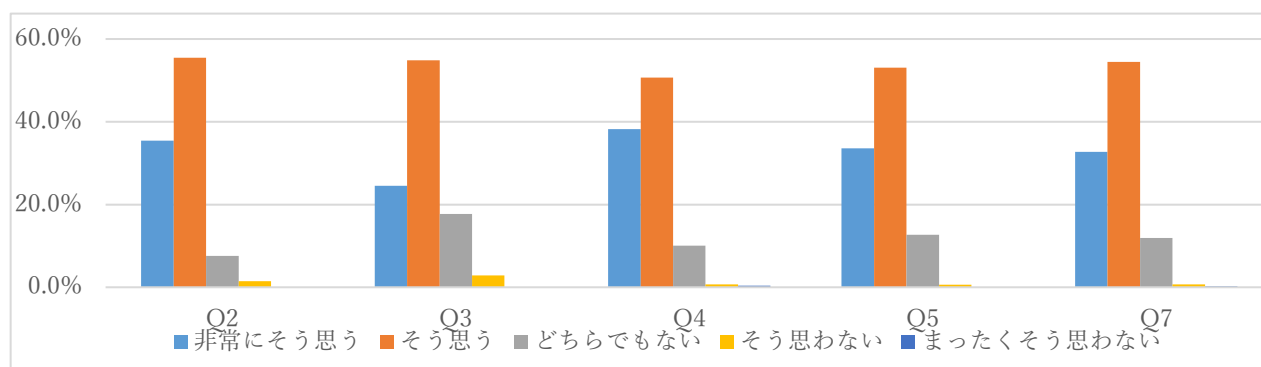
4－(2)．授業アンケート集計結果（国文学科全体）

●国文学科全体集計

受講人数	回収数	回収率
569	504	88.6%

	1	2	3	4	5	計
Q1	92	393	19	－	－	504
Q2	188	272	37	7	0	504
Q3	129	274	86	15	0	504
Q4	199	255	45	3	2	504
Q5	176	262	63	3	0	504
Q6	13	41	26	46	412	538
Q7	167	274	59	3	1	504
Q8	37	30	138	137	162	504

	1	2	3	4	5	計
Q1	18.2%	77.9%	3.9%	－	－	100.0%
Q2	35.5%	55.5%	7.6%	1.5%	0.0%	100.0%
Q3	24.5%	54.9%	17.7%	2.9%	0.0%	100.0%
Q4	38.2%	50.6%	10.0%	0.7%	0.4%	100.0%
Q5	33.6%	53.0%	12.7%	0.6%	0.0%	100.0%
Q6	2.4%	7.4%	4.6%	8.5%	77.1%	100.0%
Q7	32.7%	54.4%	11.9%	0.7%	0.2%	100.0%
Q8	8.6%	6.3%	26.0%	27.2%	31.9%	100.0%



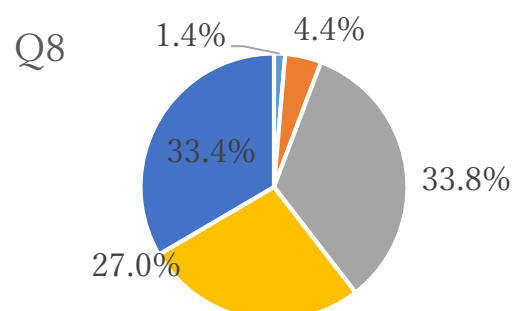
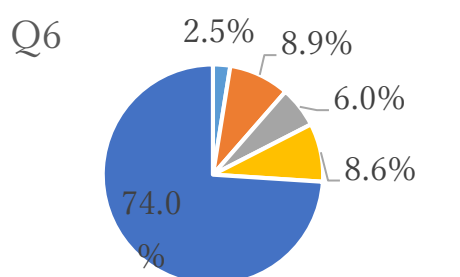
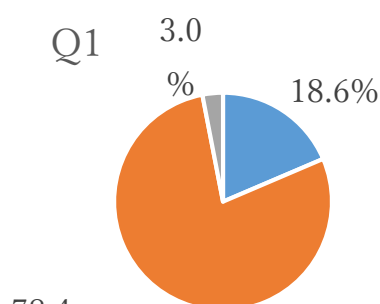
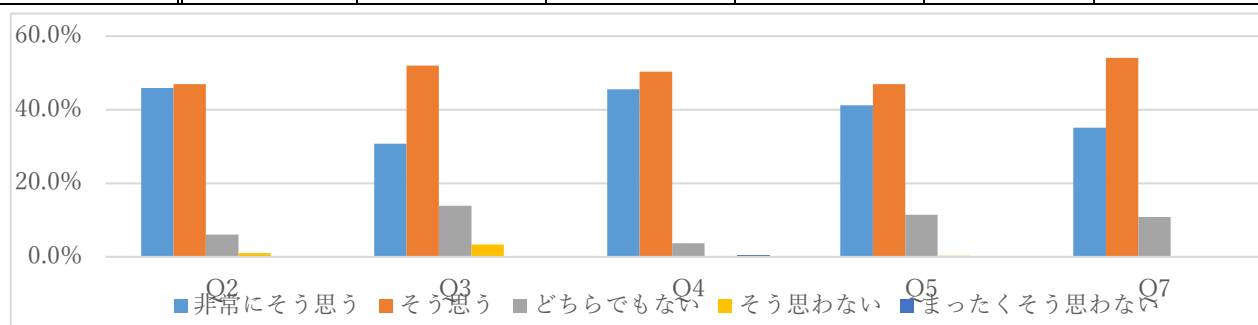
4－(3)．授業アンケート集計結果（国文学科1年生）

●国文学科1年次生集計

受講人数	回収数	回収率
342	296	86.5%

	1	2	3	4	5	計
Q1	55	232	9	－	－	296
Q2	136	139	18	3	0	296
Q3	91	154	41	10	0	296
Q4	135	149	11	0	1	296
Q5	122	139	34	1	0	296
Q6	8	28	19	27	233	315
Q7	104	160	32	0	0	296
Q8	4	13	100	80	99	296

	1	2	3	4	5	計
Q1	18.6%	78.4%	3.0%	－	－	100.0%
Q2	45.9%	47.0%	6.1%	1.0%	0.0%	100.0%
Q3	30.7%	52.0%	13.9%	3.4%	0.0%	100.0%
Q4	45.6%	50.3%	3.7%	0.0%	0.3%	100.0%
Q5	41.2%	47.0%	11.5%	0.3%	0.0%	100.0%
Q6	2.5%	8.9%	6.0%	8.6%	74.0%	100.0%
Q7	35.1%	54.1%	10.8%	0.0%	0.0%	100.0%
Q8	1.4%	4.4%	33.8%	27.0%	33.4%	100.0%



78.4
%

- 達成できた
- おおむね達成できた
- 達成できなかった

- 私語への対応
- 聞き取りやすい話し方
- 教科書・配布資料の活用
- わかりやすいパワーポイントや板書
- 特になし

- 3時間以上
- 2時間以上3時間未満
- 1時間以上2時間未満
- 30分以上1時間未満
- 30分未満

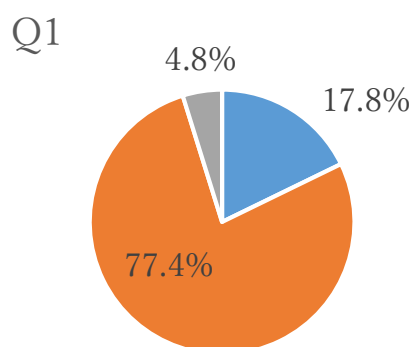
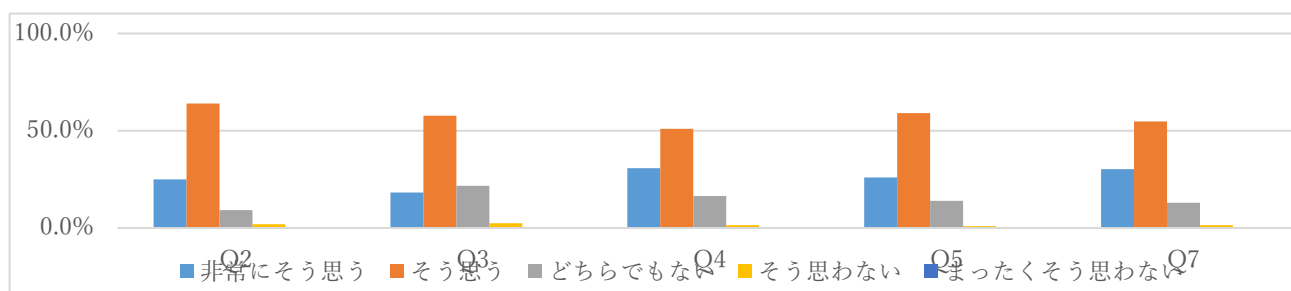
4－（４）．授業アンケート集計結果（国文学科２年生）

●国文学科２年次生集計

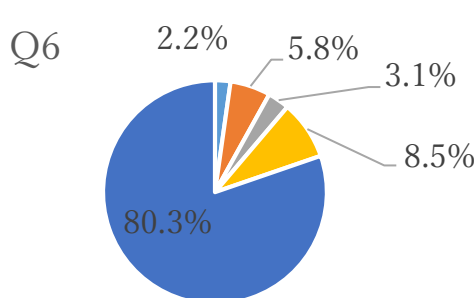
受講人数	回収数	回収率
227	208	91.6%

	1	2	3	4	5	計
Q1	37	161	10	－	－	208
Q2	52	133	19	4	0	208
Q3	38	120	45	5	0	208
Q4	64	106	34	3	1	208
Q5	54	123	29	2	0	208
Q6	5	13	7	19	179	223
Q7	63	114	27	3	1	208
Q8	33	17	38	57	63	208

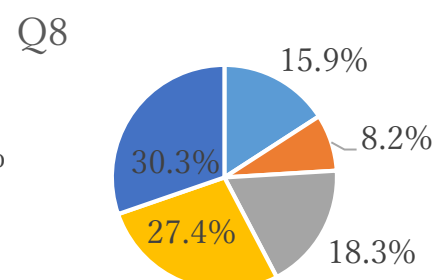
	1	2	3	4	5	計
Q1	17.8%	77.4%	4.8%	－	－	100.0%
Q2	25.0%	63.9%	9.1%	1.9%	0.0%	100.0%
Q3	18.3%	57.7%	21.6%	2.4%	0.0%	100.0%
Q4	30.8%	51.0%	16.3%	1.4%	0.5%	100.0%
Q5	26.0%	59.1%	13.9%	1.0%	0.0%	100.0%
Q6	2.2%	5.8%	3.1%	8.5%	80.3%	100.0%
Q7	30.3%	54.8%	13.0%	1.4%	0.5%	100.0%
Q8	15.9%	8.2%	18.3%	27.4%	30.3%	100.0%



- 達成できた
- おおむね達成できた
- 達成できなかった



- 私語への対応
- 聞き取りやすい話し方
- 教科書・配布資料の活用
- わかりやすいパワーポイントや板書
- 特になし



- 3時間以上
- 2時間以上3時間未満
- 1時間以上2時間未満
- 30分以上1時間未満
- 30分未満

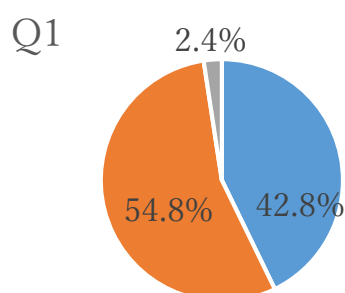
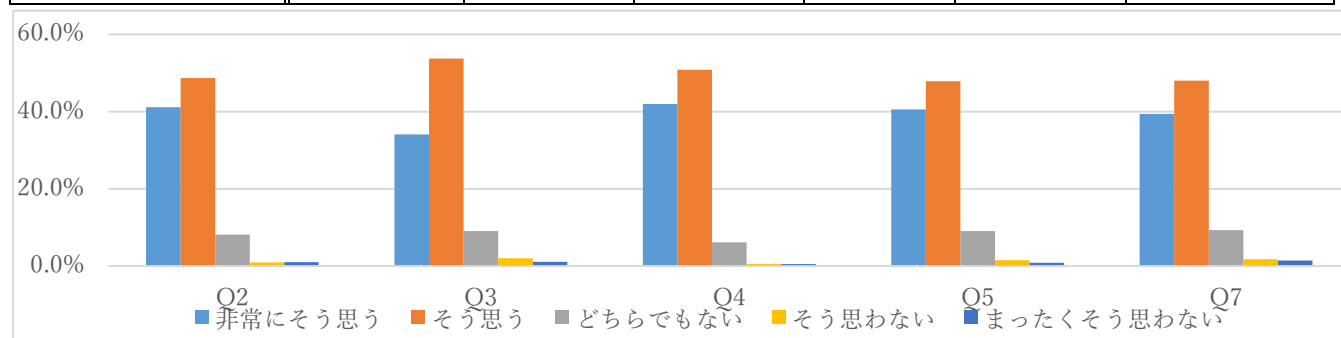
4－(5)．授業アンケート集計結果（子ども学科全体）

●子ども学科全体集計

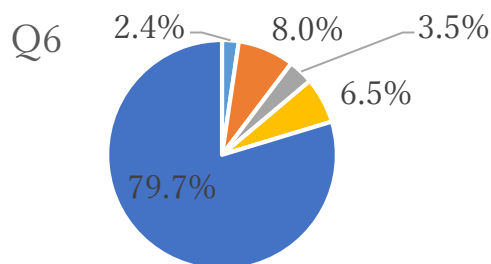
受講人数	回収数	回収率
1494	1221	81.7%

	1	2	3	4	5	計
Q1	499	690	32	－	－	1221
Q2	493	591	110	13	14	1221
Q3	398	658	123	28	14	1221
Q4	503	619	85	7	7	1221
Q5	494	581	117	18	11	1221
Q6	28	102	46	85	1057	1318
Q7	478	581	120	24	18	1221
Q8	46	33	126	270	746	1221

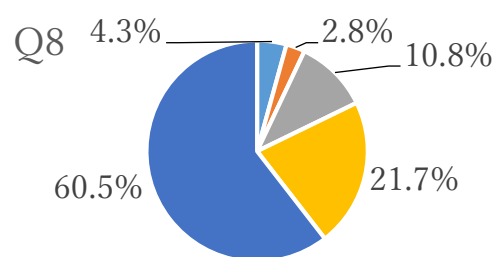
	1	2	3	4	5	計
Q1	42.8%	54.8%	2.4%	－	－	100.0%
Q2	41.2%	48.7%	8.2%	0.9%	1.1%	100.0%
Q3	34.1%	53.8%	9.0%	2.0%	1.1%	100.0%
Q4	42.0%	50.8%	6.1%	0.5%	0.5%	100.0%
Q5	40.6%	47.9%	9.1%	1.6%	0.9%	100.0%
Q6	2.4%	8.0%	3.5%	6.5%	79.7%	100.0%
Q7	39.4%	48.0%	9.3%	1.8%	1.4%	100.0%
Q8	4.3%	2.8%	10.8%	21.7%	60.5%	100.0%



■ 達成できた
■ おおむね達成できた
■ 達成できなかった



■ 私語への対応
■ 聞き取りやすい話し方
■ 教科書・配布資料の活用
■ わかりやすいパワーポイントや板書
■ 特になし



■ 3時間以上
■ 2時間以上3時間未満
■ 1時間以上2時間未満
■ 30分以上1時間未満
■ 30分未満

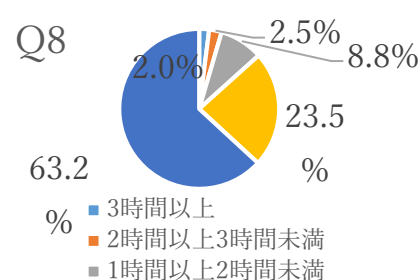
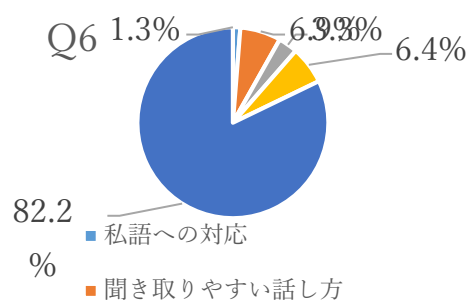
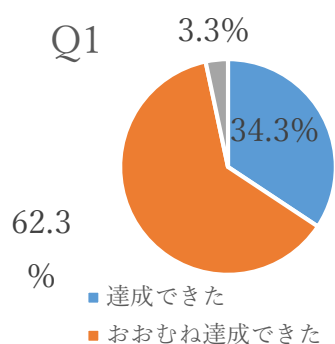
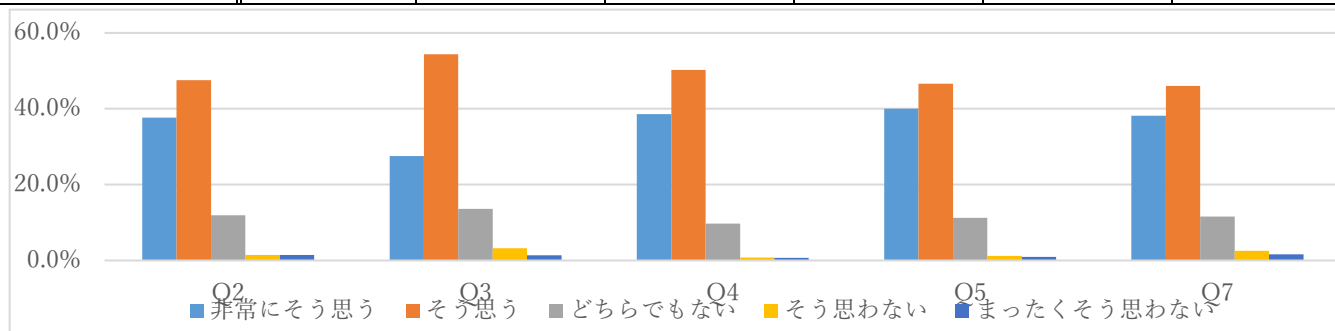
4－(6)．授業アンケート集計結果（子ども学科1年生）

●子ども学科1年次生集計

受講人数	回収数	回収率
844	749	88.7%

	1	2	3	4	5	計
Q1	257	467	25	－	－	749
Q2	282	356	89	11	11	749
Q3	206	407	102	24	10	749
Q4	289	376	73	6	5	749
Q5	300	349	84	9	7	749
Q6	10	55	26	51	654	796
Q7	286	345	87	19	12	749
Q8	15	19	66	176	473	749

	1	2	3	4	5	計
Q1	34.3%	62.3%	3.3%	－	－	100.0%
Q2	37.7%	47.5%	11.9%	1.5%	1.5%	100.0%
Q3	27.5%	54.3%	13.6%	3.2%	1.3%	100.0%
Q4	38.6%	50.2%	9.7%	0.8%	0.7%	100.0%
Q5	40.1%	46.6%	11.2%	1.2%	0.9%	100.0%
Q6	1.3%	6.9%	3.3%	6.4%	82.2%	100.0%
Q7	38.2%	46.1%	11.6%	2.5%	1.6%	100.0%
Q8	2.0%	2.5%	8.8%	23.5%	63.2%	100.0%



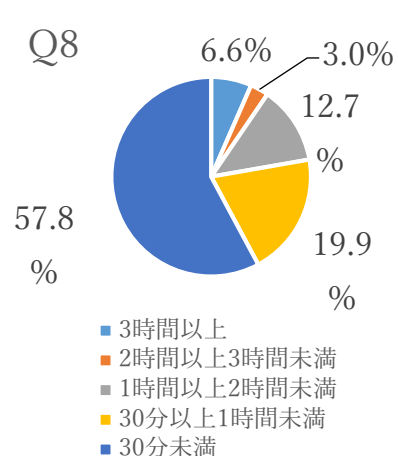
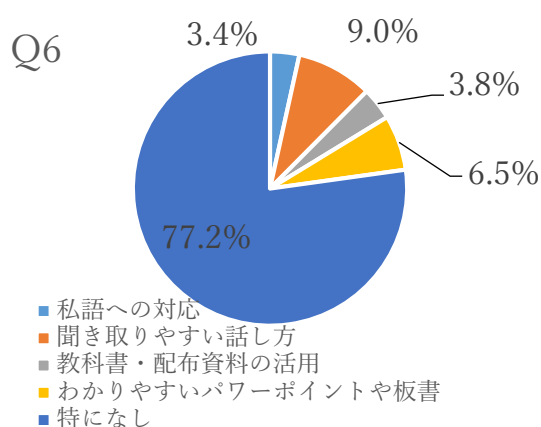
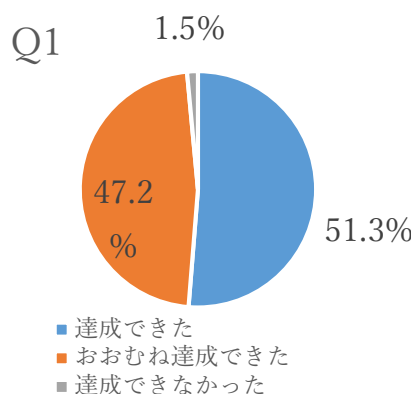
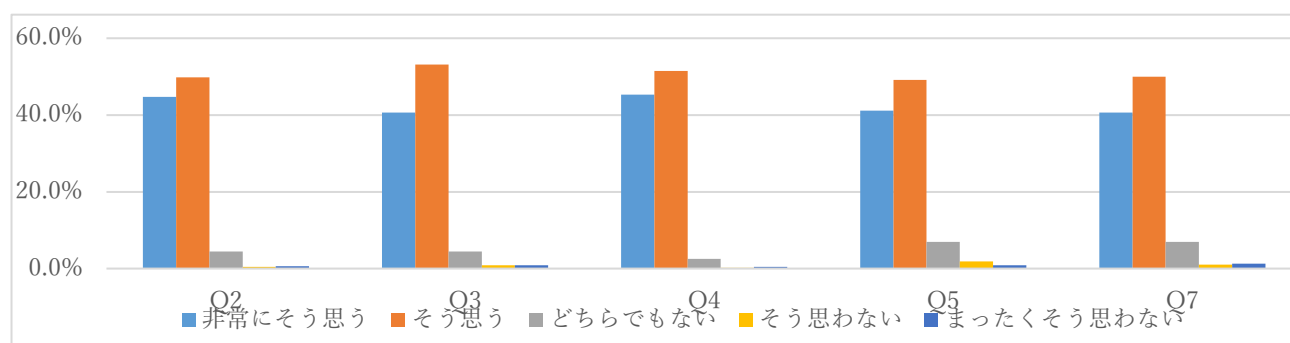
4－(7)．授業アンケート集計結果（子ども学科2年生）

●子ども学科2年次生集計

受講人数	回収数	回収率
650	472	72.6%

	1	2	3	4	5	計
Q1	242	223	7	－	－	472
Q2	211	235	21	2	3	472
Q3	192	251	21	4	4	472
Q4	214	243	12	1	2	472
Q5	194	232	33	9	4	472
Q6	18	47	20	34	403	522
Q7	192	236	33	5	6	472
Q8	31	14	60	94	273	472

	1	2	3	4	5	計
Q1	51.3%	47.2%	1.5%	－	－	100.0%
Q2	44.7%	49.8%	4.4%	0.4%	0.6%	100.0%
Q3	40.7%	53.2%	4.4%	0.8%	0.8%	100.0%
Q4	45.3%	51.5%	2.5%	0.2%	0.4%	100.0%
Q5	41.1%	49.2%	7.0%	1.9%	0.8%	100.0%
Q6	3.4%	9.0%	3.8%	6.5%	77.2%	100.0%
Q7	40.7%	50.0%	7.0%	1.1%	1.3%	100.0%
Q8	6.6%	3.0%	12.7%	19.9%	57.8%	100.0%



5－（１）．全学的考察（授業アンケート結果について）

今期も昨年度の秋学期と同様、8 項目の授業アンケートと自由記述を行った。ここでは、その中の 5 項目のアンケート結果を中心に考察する。

質問項目（１）あなたは、この授業の到達目標がどのくらい達成できましたか。

	達成できた	おおむね達成できた	合計
令和 2 年度春学期	33.9%	63.7%	97.6%
令和 2 年度秋学期	23.2%	74.4%	97.6%
令和 3 年度春学期	31.5%	65.0%	96.5%
令和 3 年度秋学期	34.8%	62.7%	97.5%
令和 4 年度春学期	34.3%	62.8%	97.1%

「達成できた」と回答した学生は、昨年度秋学期から 0.5 ポイント、「達成できた」「おおむね達成できた」と回答した学生の合計も、0.4 ポイントの減少であった。ほぼ同じような傾向で推移していると考えられる。

質問項目（２）授業内容は興味・関心が持てましたか。

	非常にそう思う	そう思う	合計
令和 2 年度春学期	36.1%	54.2%	90.3%
令和 2 年度秋学期	26.9%	61.6%	88.5%
令和 3 年度春学期	35.6%	53.2%	88.8%
令和 3 年度秋学期	35.6%	54.5%	90.1%
令和 4 年度春学期	39.5%	50.0%	89.5%

「非常にそう思う」と回答した学生は 39.5%で、ここ数年で一番高い。「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計は、0.6 ポイント減少しているが、9 割の学生が興味・関心を持って授業に参加することができた。授業科目・授業内容の多くが同じである、昨年度同期と比較しても、「非常にそう思う」と回答した学生は 3.9 ポイント増加している。

質問項目（３）授業内容をよく理解できましたか。

	非常にそう思う	そう思う	合計
令和 2 年度春学期	28.0%	58.7%	86.7%
令和 2 年度秋学期	20.3%	68.7%	89.0%
令和 3 年度春学期	28.8%	54.7%	83.5%
令和 3 年度秋学期	28.6%	57.9%	86.5%
令和 4 年度春学期	30.6%	54.0%	84.6%

「非常にそう思う」と回答した学生は昨年度秋学期より 2.0 ポイント増加した。「そう思う」と回答した学生が、3.9 ポイント減少している。昨年度同期と比較しても、「非常にそう思う」と回答した学生は 1.8 ポイント増加している。このことは、質問項目（２）と関連し、授業内容への興味・関心が持てると、授業内容の理解も高いと言える。

質問項目（５）学生の理解を促す工夫がなされていましたか。（言葉による説明だけでなく、適切な資料、板書等の活用、グループワーク）

	非常にそう思う	そう思う	合計
令和２年度春学期	37.0%	53.4%	90.4%
令和２年度秋学期	27.8%	63.8%	91.6%
令和３年度春学期	33.7%	52.3%	86.0%
令和３年度秋学期	33.8%	52.5%	86.3%
令和４年度春学期	38.8%	48.9%	87.7%

「非常にそう思う」と回答した学生は、昨年度秋学期よりも5.0ポイント、昨年度同期よりも5.7ポイント増加した。「そう思う」がやや減少しているものの、学生の満足度が高くなっていると言える。

質問項目（８）あなたは、この授業の予修・復修など自主学修に１週間あたりどのくらいかけましたか。

※授業に間接的に関係のある学修を含む。学内外を問わず、授業時間以外の時間を回答（例 ピアノ練習、基礎プロ準備、実習準備等）

	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満
令和２年度春学期	8.9%	8.1%	21.4%	23.4%	38.3%
令和２年度秋学期	7.8%	7.9%	23.4%	29.7%	31.2%
令和３年度春学期	6.6%	4.8%	12.5%	26.2%	49.9%
令和３年度秋学期	8.9%	7.5%	17.9%	24.3%	41.3%
令和４年度春学期	4.8%	3.7%	15.3%	23.6%	52.8%

「1時間以上」自主学修をしたと回答した学生の合計は23.8%で、昨年度秋学期より10.5ポイント減少している。一昨年、昨年とオンデマンドなどで授業が実施されたこともあり、学生がどこまでを家庭学修と捉えていたかが問題である。今期は、対面授業となり自主学修の時間がはっきりとした。ただ、全体的に時間が少ないと言える。今後、課題の内容や学修の仕方などを丁寧に指導していく必要があると考える。特に「30分未満」と回答した52.8%の学生も含めて、全体に少しずつでも学修時間の増加を目指していきたい。

5－（２）. 全学的考察（授業の質向上のために）

今期から、すべての授業で対面授業を実施した。その中で「（１）あなたは、この授業の到達目標がどのくらい達成できましたか。」で、子ども学科の１年生と２年生では「達成できた」に17ポイントの差があった。２年生は51.3%と達成度が高い。国文学科では、大きな差は見られなかった。今年度の子ども学科の１年生の学びについては、入学前にコロナ禍でいろいろな制約を受けていた中での学びから、入学後の大学での学びに戸惑いが見られるようにも感じた。今後、高大接続の充実を図り、大学での学修について免許取得に向けての学び方など、学生の主体的な学びに向けてスムーズに移行できるようにしていく必要があると考える。

授業内容への興味・関心（質問項目（２））や授業内容の理解（質問項目（３））、授業の理解を促す工夫（質問項目（５））の「非常にそう思う」の数値が、伸びている。対面授業において、学生間の距離や密を避けるための場を工夫したり、反転授業を実施したりするなど、グループワークや話し合いの場を工夫して実施している。講義形式の授業だけでなく、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善に取り組み、グループワークや資料やICTの活用など、各授業を通して学生の資質・能力を確実に育成する取組を進めていることが反映されたと考える。

しかし、１週間あたりの自主学修時間については、半数以上の学生が「30分未満」と回答しており、依然高い数値を示している。家庭での学修習慣を定着させるためには、個々の学生の学修へのモチベーションや学修意欲の向上が不可欠である。シラバスには、予修・復修の内容と時間を明記しており、反転授業の実施や予修・復修に

係る課題も提示しているが、家庭での学修習慣の定着に向けて一層の取り組みが必要である。自主学修の充実を図るには、授業と自主学修を接続することが大切であり、課題の出し方や評価方法を工夫する必要がある。課題としては、知識等を定着させるための課題や授業の発展的な課題や学生が選択できる課題等、出し方を工夫するなど、学生が主体的に学びたいと感じ、成果を実感できる自主学修となるよう改善していくことが求められる。

やや落ち着いてきたとは言え、今後も、コロナの罹患状況によっては対面授業から遠隔授業へいつ移行されるかもわからない不透明な状況の中で、様々な授業形態での工夫改善が必要である。教員の研修を計画的に実施し、学生が能動的に学ぶことができる授業の構築をめざして、大学全体として授業の質の向上を図っていきたい。

6－(1)．国文学科全体の考察（授業アンケート結果について）

質問項目（Q3）「授業内容をよく理解できましたか」について、「非常にそう思う」「そう思う」および両者の合計を過去4年間の同時期と比べると次のようになる。

【表1】	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
平成30年度春学期	22.9%	45.7%	68.6%
令和1年度春学期	14.0%	59.0%	73.0%
令和2年度春学期	22.5%	61.4%	83.9%
令和3年度春学期	23.1%	49.0%	72.1%
令和4年度春学期	24.5%	54.9%	79.4%

昨年度と比較すると、「非常にそう思う」は微増、「そう思う」は6%弱増加している。本年度は5年間のうちで最も両者の合計が2番目に高い数値を示しており、80%程度というのはおおむね問題のない値であると考えられる。

同じ項目の学年ごとの違いは以下の通りである。

【表2】	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1年生	30.7%	52.0%	82.7%
2年生	18.3%	57.7%	76.0%

昨年度の同じデータは次の通りである。

【表3】	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1年生	18.3%	40.5%	58.8%
2年生	30.7%	59.6%	90.3%

上のふたつのデータ（【表2】【表3】）を比較すると、現2年生については「非常にそう思う」と回答しているのは1年春学期のときと同じ数値であり、「そう思う」は1年次に比べ17%増加している。現1年生については今年度よりカリキュラムが大きく変更されているために昨年度と単純に比較することはできないが、比較的高い理解度を示している。

質問項目（Q8）の学習時間について、学年ごとの集計は以下の通りである。

【表4】	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満
1年生	1.4%	4.4%	33.8%	27.0%	33.4%
2年生	15.9%	8.2%	18.3%	27.4%	30.3%

昨年度の同じデータは次の通りである。

【表 5】	3 時間以上	2 時間以上 3 時間未満	1 時間以上 2 時間未満	30 分以上 1 時間未満	30 分未満
1 年生	7.9%	4.3%	12.5%	31.5%	43.7%
2 年生	8.8%	7.9%	11.8%	25.9%	45.6%

2 年生については、1 年次と比べると 30 分以上の各項目ですべて数値があがっており、30 分未満は 15%低下している。学習時間が着実に増えており、授業内容が授業外学習をある程度必要とするものになっていることが功を奏していると考えられる。

近年 4 年間の 1 年生の学習時間は以下の通りである。

【表 5】	3 時間以上	2 時間以上 3 時間未満	1 時間以上 2 時間未満	30 分以上 1 時間未満	30 分未満
令和 1 年度 1 年生	3.0%	6.0%	12.0%	31.0%	48.0%
令和 2 年度 1 年生	0.8%	4.5%	16.7%	31.6%	46.3%
令和 3 年度 1 年生	7.9%	4.3%	12.5%	31.5%	43.7%
令和 4 年度 1 年生	1.4%	4.4%	33.8%	27.0%	33.4%

今年度の 1 年生の学習時間は 3 時間以上といった非常に長い時間の者は少ないが 1 時間以上 2 時間未満の層が分厚くなっている。

学習時間についてはこの数年おおむね増加している。これについては、事前準備が必要な授業が多くなり、授業外での学習習慣が定着してきているためであると見ている。また 1 年次より 2 年次に学習時間が増えている傾向については、授業の難易度が段階的に高くなっていること（カリキュラム編成上当然のことであるが）と、学生がそれに対応して学習していることを示していると考えられる。

なお、本年度春学期はコロナ禍においてではあるがすべての授業を対面形式で行うことができた。そのため、コロナ禍に対して特別大きな対応は授業上行っていないが、Chromebook の配布や Classroom の活用などが定着し、学修面で適切に利活用されていると考えている。

6－（２）．国文学科全体の考察（授業の質向上のために）

学習習慣の定着については、少しずつではあるが着実に定着してきていると評価している。それは学習時間の伸びから看取することができる。授業外での学習時間について増加させることを目標としてきたが、ある程度定着してきたことを踏まえ、次の段階として時間数ではなく質的転換をはかるべきであると昨年度の考察において指摘した。そのために①学習のインセンティブを学生に提供し、学生自ら学習のモチベーションを上げられるような学習指導を行えるよう学科として取り組むこと、②特に学習意欲や学力の高い学生に対し、より高次の学習（授業外学習）が行えるよう支援する枠組みをつくること、を課題として挙げたが、いまのところ明確な成果はあげられていない。

また、アクティブラーニング、サービスマーケティング、フィールドワーク、ICT の活用といった授業方法の質をより向上させるために、学科教員が共同で授業研究を続ける必要があることも課題として挙げていたが、こちらも個人ベースに留まっている。

こうしたことがらについて、今度取り組むことで授業の質向上を目指さなければならない。

ただし、6－（１）でも指摘したが、履修順序に従った学習内容（難易度・課題）については学科内での共有や話し合いが活かされており、学習時間の増加にもつながっており、改善されている。

7－（１）．子ども学科全体の考察（授業アンケート結果について）

①授業アンケート結果について

質問項目 2、質問項目 3、質問項目 5 について、3 年間の経緯を比較してみると、次のような結果であった。

質問項目 2：授業内容に関心が持てたか

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和 2 年度春学期	37. 4%	54. 3%	91. 7%
令和 3 年度春学期	37. 2%	53. 7%	90. 9%
令和 4 年度春学期	41. 2%	48. 7%	89. 9%

質問項目 3：授業内容が理解できた

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和 2 年度春学期	30. 1%	57. 6%	87. 7%
令和 3 年度春学期	31. 1%	56. 7%	87. 8%
令和 4 年度春学期	34. 1%	53. 8%	87. 9%

質問項目 5：授業に工夫があった

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和 2 年度春学期	39. 3%	52. 1%	91. 4%
令和 3 年度春学期	35. 5%	52. 2%	87. 7%
令和 4 年度春学期	40. 6%	47. 9%	88. 5%

どの項目についても、ここ数年、高い評価を示す結果がでており、授業内容への関心が高く、意欲的に学ぼうとする姿勢が見られる。理解もよくできていると評価できる。

春学期は、対面授業は実施できたが、グループワークや体験活動は感染予防の観点から制限された状況であった。そのため、どうしても講義形式の授業が多くなりストレスのたまる日々も続いたように思われる。また、学生自身、高校での学習形態も講義形式が多く、グループワーク等を苦手とする者が多くみられ、不安をもって授業に臨む学生がこれまでより多いように思えた。

そうした中でも、授業への興味・関心を失わず、理解についても、高い数値を示していること、また「授業に工夫があった」についても 9 割近い数値を示していることは、教員の授業に対する工夫や努力が評価されたと考えられる。

②学生の学修時間について

次に、「当該授業に関する授業外学修時間(週)」について、4 年間の経緯を比較してみると、次のような結果であった。

質問項目 8：当該授業に関する授業外学修時間(週)

	3時間 以上	2時間以上～ 3時間未満	1時間以上～ 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満
令和元年度 春学期	6%	10%	15%	20%	49%
令和 2 年度 春学期	12. 7%	9. 8%	24. 5%	19. 7%	33. 4%
令和 3 年度 春学期	6. 2%	4. 5%	12. 8%	24. 8%	51. 7%
令和 4 年度 春学期	4. 3%	2. 8%	10. 8%	21. 7%	60. 5%

1週間あたりの自主学修の時間は、数値がかなり落ち込んでいる。令和2年度、令和3年度は、コロナ禍で遠隔授業が取り入れられ、レポートや課題の作成が求められたことにより、家庭での学習時間が必然的に増加したが、本年度は、対面授業が実施できたことから、昨年度と単純に比較することができないところがある。

しかしながら、コロナ前の令和元年度と比較しても、30分未満の学生が6割を超えるという結果は、これまでにない大きな課題である。授業で出された課題に対して再度、学びをふり返り、自分で調べたり、考えたりして、学びを確かなものにしていくことが自主的な学びの姿勢につながるものであり、教員の課題の出し方を工夫するとともに、今後の学生に求められる学びの姿勢として指導していきたい。

③コロナ禍での授業について

リモートの授業を教員が経験する中で、chromebookを使った資料の配布や課題の提出等の指導技術が向上したといえる。そのため、学生個々との交流や指導、提出の確認等がこまやかにできるようになり、授業に対する工夫の評価が高いことにもつながっていると考えられる。

しかしながら、対面での授業、例えば、90分講義を集中して受けること、グループワークで考えを交流すること、体験学習に主体的に臨むこと等については、コロナ渦での生活が続いたこともあり、学生の経験も少なく、教員もコロナ渦での制限された対応ということで、効果的な学習が難しかったように思える。

今後は、グループワークや体験授業等、アクティブラーニングを積極的に取り入れ、そうしたことに意欲的に臨める姿勢を学生に植え付けていきたい。特に基礎力においては、学び方の指導も含め指導の充実を図っていききたい。

併せて、状況によっては遠隔授業の実施も予想されるので、対面、遠隔の両面において、教員の研修を行うなどして、より一層指導方法の向上を図っていく必要がある。また、早い段階から問題を整理し、環境面での整備についても充実を図っていただきたいと考える。

④前年度または前学期の授業アンケート考察時から改善されたことについて

授業の質的な向上に向けた取組みの成果は継続されており、学生のアンケート結果として着実に出てきている。先ほども述べたが、数年前の対面授業だけの時代ではなく、教員が情報機器を活用し、遠隔授業においても対面授業においてもアクティブ・ラーニングを実践していく力量をつけなければならない時代になったといえる。学生の声やアンケート結果からは、そうした授業改善に徐々にではあるが進んでいるように思える。

今後も、学生の学習に対する意欲や関心、また不安な気持ちについての把握に努め、本学としてのアクティブ・ラーニングの充実に努めていきたい。

7-(2). 子ども学科全体の考察(授業の質向上のために)

PROGや教学IRの学修成果の査定の結果をもとに、目の前の学生に力をつけていくためには、授業をどのようにしていけばよいのかを考えていくことが重要ととらえている。今後も引き続き、学科として、「授業の質の向上」の取組みを進め、今まで推進してきたアクティブ・ラーニングを取り入れた授業実践を様々な授業形態において進めていきたい。

新型コロナウイルスの対応は今後も続くと予想される。対面授業における工夫やオンライン授業・オンデマンド授業等への対応が求められる。単に機器を使いこなすだけでなく、効果的な活用をすることで、授業の質を高められるように、また、学生自らが情報機器を活用して学んでいけるように工夫をしていく必要がある。

学修時間の向上については、Googleのclassroomやmeetを活用したり、課題の与え方を工夫したりし、自主的な学修の習慣形成ができるようにしていきたい。

引き続き、学科目標に「授業の質の向上」を掲げ、教員が授業に対して創意工夫のある取組みを推進することが重要であり、研修の機会を充実していくことも大切であると考ええる。

8. 授業アンケート回答率の推移

本学では、平成 30(2018)年度まで紙媒体で実施していた授業アンケートについて、令和元(2019)年度より電子媒体である学生ポータルサイト（Campus Plan portal）を利用している。

本学では授業アンケートは無記名式の回答であるため、学生への授業アンケート回答の催促はしない。

今学期と過去 4 年間について、回答率の推移を学科・学年別に比較する。

		国文学科		子ども学科		全学	
		回収率	回収/受講	回収率	回収/受講	回収率	回収/受講
紙媒体	平成 30 年度春学期	96.5%	1084/1123	97.3%	2402/2469	97.5%	3486/3592
	平成 30 年度秋学期	91.3%	647/709	82.6%	1269/1536	85.3%	1916/2245
電子媒体	令和元年度春学期	89.1%	452/507	81.3%	959/1180	83.6%	1411/1687
	令和元年度秋学期	86.0%	442/514	88.6%	952/1074	87.8%	1394/1588
	令和 2 年度春学期	85.9%	511/595	89.6%	1097/1224	88.4%	1608/1819
	令和 2 年度秋学期	76.1%	388/510	83.2%	939/1129	81.0%	1327/1639
	令和 3 年度春学期	90.7%	556/613	86.8%	1426/1642	87.9%	1982/2255
	令和 3 年度秋学期	90.0%	497/552	82.7%	1340/1620	84.6%	1837/2172
	令和 4 年度春学期	88.6%	504/569	81.7%	1221/1494	83.6%	1725/2063
平均・合計		89.3%	5081/5692	86.8%	11605/13368	87.5%	16686/19060

一般的に大学で学生にアンケートを実施する際は、紙媒体の方が電子媒体よりも回収率が高いといわれている。本学は今年度で電子媒体での授業アンケートの実施は 4 年目に入り、学籍異動のない在学生は全員が入学時より電子媒体で授業アンケートに回答している。学生がポータルサイトや機器の使用方法にも慣れてきたため、昨年度とほぼ同程度の回答率が得られた。これからも学生が安心して回答できるよう、授業アンケートは無記名式かつ電子媒体での実施を継続する予定である。

次年度以降も引き続き、まず学生の声を聴き授業改善について検討する材料を十分集められるよう、授業内での確実な授業アンケートの実施に努めていく。

以上